

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 新居浜市立泉川小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒792-0815
愛媛県新居浜市岸の上町1-13-68

E-mail izue-ad@esnet.ed.jp

Website http://izumigawa-e.esnet.ed.jp/

児童生徒数 男子 263名 女子 246名 合計 509名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 活動の様子

◇ テーマ (主題)

「進めよう！エコ・アクション」

～地球環境を守るために、明るい展望をもって気付き、考え、実行する児童の育成～

◇ 主な活動内容について

【2年「旬の食べ物のよさを伝え合おう」】

(ねらい)

- ・旬の食べ物である野菜を栽培したり、旬の食べ物のよさについて伝え合ったりする活動を通して、旬の食材を食べることが、自分の健康によいばかりでなく、地球環境も守ることを体感する。



(活動の実際)

- ・旬の野菜（夏…トマト、きゅうり、なす 冬…大根）の栽培や世話を通して、野菜の成長の変化に気付き、命の尊さを感じ取る。また、「旬の食べ物フェスタ」を開催し、旬の食べ物のよさについて調べたことを伝え合う。

【特別支援学級「夏の野菜を育てよう！食べよう！」】

(ねらい)

- ・夏野菜の栽培・収穫・調理等を通して、野菜作りの苦労や収穫の喜びを味わい、命の尊さや、人とのつながりの大切さについて知る。

(活動の実際)

- ・玉ねぎやなす、パプリカなどの夏の野菜の苗を植えて、継続して世話をし、収穫をする。収穫後は、玉ねぎ屋を開設させ、お客さん（教師）とのコミュニケーションを楽しむ。最後には、PTA 役員さんとカレーライス作りを行い、一緒に会食を楽しむ。



【全校活動「ぼくにもわたしにもできるエコ・アクション！」】

(ねらい)

- ・一人一人の環境を守る小さな行動が、大きくて大切な地球を守ることになることを自覚して、進んでエコ活動を行う児童を育てる。

(活動の実際)

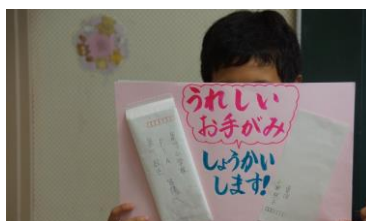
- ・毎月第2週目をエコ週間として、環境美化委員会を中心としてエコ活動を行う。リサイクル（アルミ缶・牛乳パック・ペットボトルキャップ・トレイ）回収を行ったり、昼の校内放送でエコ行動の呼び掛けを行ったりする。また、エコ週間には、「エコ・アクション」振り返りカードを記入することにより、エコ行動がとれるよう意欲付け・意識付けを図る。

【全学年「体験活動・調べ学習の充実」】

- ・本校のESDテーマである「気付き、考え、実行する児童の育成」には、体験活動と調べ学習の充実が不可欠と考えた。そのため、体験学習においては、専門家を講師として招聘して御指導いただいたり、調べ学習で、学校司書と連携して授業を行ったりしてESD学習の充実を図った。

◇ 成果と課題

ESD の中心的活動である「あいさつ日本一」の取組については、学校・PTA・地域が一丸となってあいさつ運動を継続している。今年度、地域の高齢者の方から「毎日泉川の子どもたちとあいさつを交わすことが私の元気の源です。」というお手紙をいただいた。子どもたちは、今の自分の行動が人に元気を与えるということ、すばらしい行動だということを知り、あいさつの大切さを実感する機会となり、更なるあいさつの意欲付けにつながった。また、今年度、特に充実を図った体験活動の推進により、子どもたちの ESD に対する意欲が高まり、自ら進んでエコアクション、ひいては ESD 行動をとる児童が増えてきたように思う。今後とも、子どもたちの実態を捉えて、未来を生きる子どもたちのための ESD の推進に努めていきたい。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）